

市中発症の壊死性筋膜炎に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センターと国立病院機構栃木医療センターと熊本赤十字病院で、「市中発症の壊死性筋膜炎に関する疫学調査」を行うことになりました。

この研究の目的は、壊死性筋膜炎で入院した患者さんがどのような微生物が原因で起きているかを明らかにすることです。

この研究のため、2015年1月1日より2024年5月31日までに治療した方の診療録や微生物学的検査結果を用いて調査を行います。対象となるのは壊死性筋膜炎の診断で入院治療が行われた方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（症状、血液検査所見、微生物学的検査所見など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の代表者である当院及び国立病院機構栃木医療センターと熊本赤十字病院の責任者のもとで、厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2024年10月

研究責任者

東京医療センター 救急科

駒ヶ嶺 順平

連絡先 03-3411-0111(代表)

当院責任者

熊本赤十字病院 総合内科

副部長 早野 聡史

連絡先 096-384-2111 (代表)